

2013年3月15日(金)

報道関係者各位

公益財団法人 笹川平和財団 (SPF)

公益財団法人 笹川平和財団主催 中東イスラム政治変動講演会シリーズ～第11回～
「中東における水資源管理と紛争予防」

笹川平和財団（東京都港区、会長：羽生次郎）中東イスラム基金では、激変する中東の政治情勢に対応するため、中東イスラム政治変動講演会をシリーズとして開催しています。第11回目となる今回は、ヨルダン中東科学研究所所長のアルシャリーフ・ナーセル・ビン・ナーセル氏をお招きして「中東における水資源管理と紛争予防」と題し講演会を開催します。

- 【日時】 2013年3月27日(水) 16:00～17:30
【会場】 ホテルオークラ東京 本館1階 コンチネンタルルーム
(東京都港区虎ノ門 2-10-4)
最寄駅：虎ノ門駅・溜池山王駅・神谷町駅・六本木一丁目駅から徒歩10分以内
地図：<http://www.hotelokura.co.jp/tokyo/information/access/>
- 【講演者】 アルシャリーフ・ナーセル・ビン・ナーセル氏 ヨルダン中東科学研究所所長
【モデレーター】 秋山 信将 一橋大学大学院法学研究科教授
【その他】 参加無料、使用言語：英語・日本語（同時通訳）
【申込方法】 お申込みは3月26日(火)までに当財団ホームページ
(http://www.spf.org/smeif-j/news/article_8779.html) 上か、
E-mail<middle-east@spf.or.jp>またはFAX:03-6229-5473にお申込み下さい。

中東では、適正な水資源の管理を怠ると紛争発生の原因となります。例えば、トルコはアタチュルクダムによりユーフラテス河の水資源を管理し、下流国のシリアに影響を与えています。ヨルダン川のパレスチナによる水資源管理は、パレスチナやヨルダンの生活に重大な影響を及ぼしており、常に争いの原因となり得る状態です。

水に恵まれない中東での水資源管理は、国家の死命を制する重要な問題です。ナーセル氏は、化学・生物・核など科学技術を利用した安全保障問題にも携わっており、当事者の立場から中東の水資源を中心に資源管理と紛争予防について講演します。

日本のように水資源に恵まれた国においても、今後重要になる問題として考える絶好の機会です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

中東イスラム政治変動シリーズ：激変する中東の政治変動に対応するため、世界各国から政治、国際関係、安全保障の専門家やジャーナリストを招へいしてセミナーや研究会を定期的に開催し、グローバルな視点による情報分析を通じて中東の現状を包括的に理解することを目的としています。